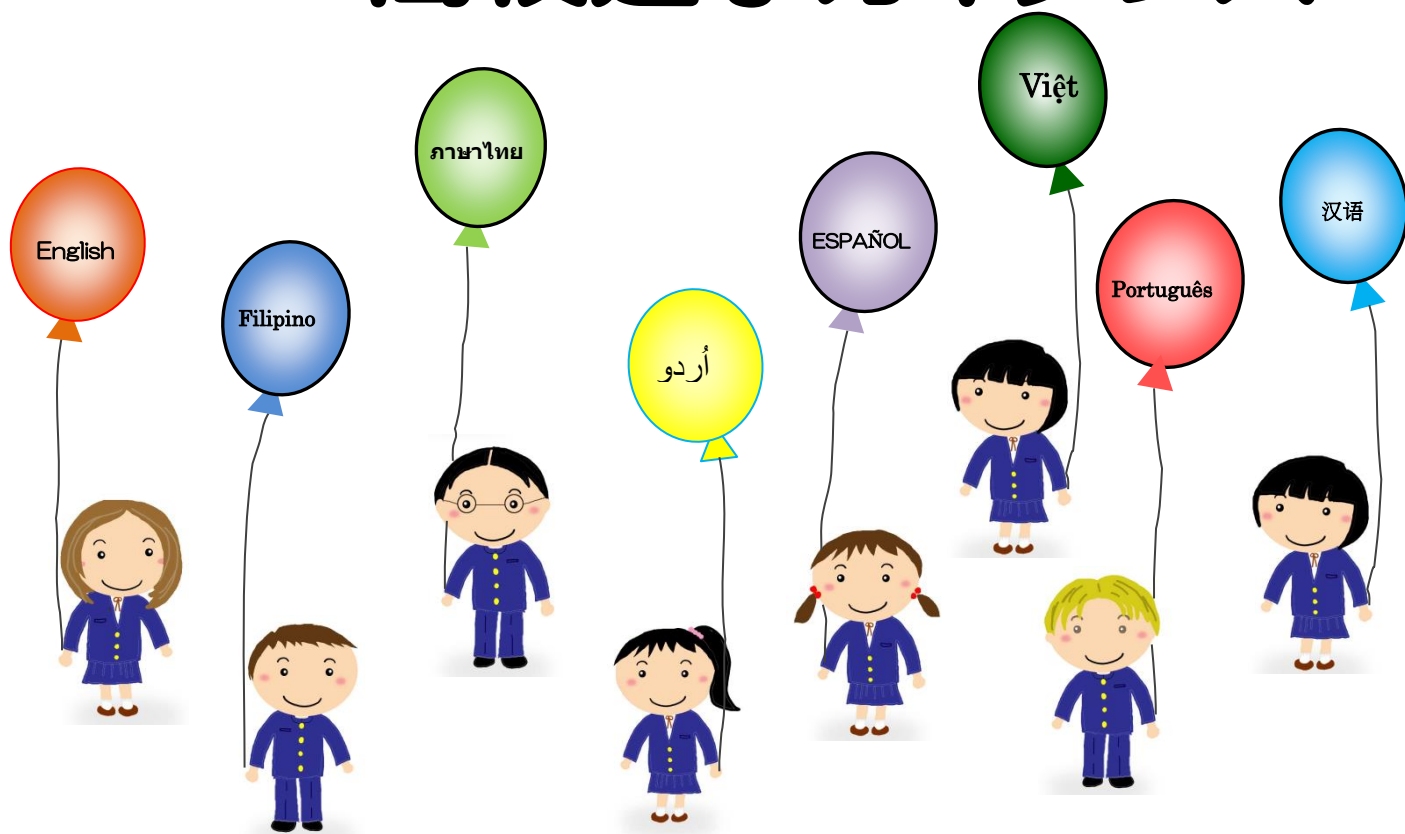


たげんご
多言語による

とちぎけんぱん
栃木県版

2019

こうこうしんがく
高校進学ガイダンス



この資料は、昨年までの資料およびデータに基づいて作成されたものです。令和2年度の正式な入試
細則は9月中旬に栃木県教育委員会より発表されます。(入試の日程などは決まっています)

うつのみやだいがく ハンズ
宇都宮大学HANDSプロジェクト

プログラム

しゅさいしゃ
主催者あいさつ

こうこうしんがく
高校進学ガイダンス

きゅうけい
休憩

しつぎおとう
質疑応答

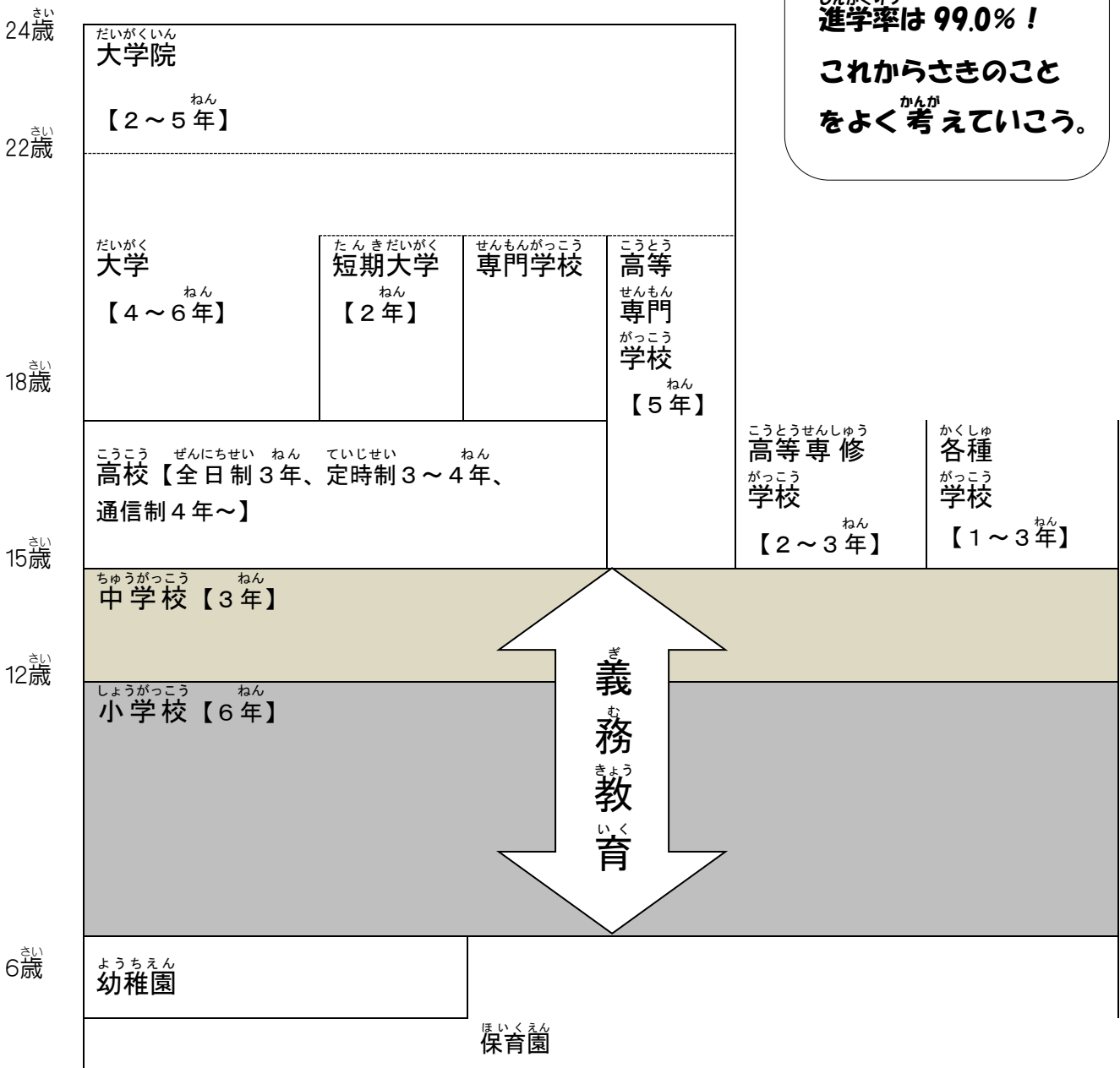
そつぎょうせい たいけんだん
卒業生の体験談

ようし きにゅう
アンケート用紙の記入

へいかい
閉会のあいさつ

にほん がっこう 1. 日本の学校のしくみ

2018年栃木県の高校
進学率は99.0%!
これからさきのこと
をよく考えていこう。



😊 小・中学校と高校のちがい

小・中学校は義務教育ですが、高校は義務教育ではないので、高校に入るためには入学試験を受けなければなりません。高校では、成績が悪かったり欠席が多かったりすると進級や卒業ができなくなる場合があります。

😊 高校を卒業すると…

大学・短期大学や専門学校に入学するための試験が受けられます。ほとんどの企業が高校を卒業することを採用条件にしているため、中学卒業より就職の幅が広がります。高校3年間で資格をとることや自分の適性について考えることが大切です。

とちぎけん こうこう 2. 栃木県の高校

公立高校と私立高校があります。公立高校には、全日制・定時制と通信制があります。
高校の学科には、大きく分けて 普通科・専門学科・総合学科があります。

(1) 全日制・定時制・通信制について

	全日制 (59校)	定時制 (8校)		通信制 (2校)
通学日	毎日 (月～金)	毎日 (夜間)	毎日 (月～金)	自主学習のレポートを提出し、添削指導を受ける。
授業時間	45～50分授業、6～7時間	45分授業、4～6時間 17:30頃開始	午前・午後・夜間の3部制それぞれ45分授業、4～6時間	月に数回、登校して学習します。
卒業までの基本的年数	3年	3年以上		
学科 (次ページ参照)	普通科 専門学科 総合学科	普通科 専門学科 「工業」「商業」のみ	普通科 専門学科「商業」	普通科
その他		給食あり	夜間部のみ給食あり	



学校・学科を選ぶときのポイント

- 自分の興味・関心、能力・適性、性格について考え、自分自身の可能性を探る。
- 将来、自分がどんな職業につきたいか、どんな職業についたらよいかを考える。
- 高校で何を学びたいのか考える。
- 自分の希望する学校や学科の特色や学習内容を調べる。
- 高校を卒業したあとどんな進路があるか調べる。



進路を考えるときは

まず、自分で考え、保護者と話し合い、先生と相談して決めよう！

夏休みの一日体験学習や学校説明会 (特に、私立高校) を利用して

必要な情報をあつめよう

(2) 栃木県の公立高校における各学科の特色について

普通科		学習の中心が普通教科に置かれている。多くの普通科では、2年生から文系・理系あるいは様々なコースに分かれ、深く学ぶ。
専門 学 科	商業に関する学科	主に、会計帳簿の作成、ビジネスに必要なパソコン操作や英会話、商品流通のしくみなどを学ぶ。
	工業に関する学科	機械、電気、建築、コンピュータプログラミングなどの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	農業に関する学科	農業経営、生物工学、食品化学、農業土木、園芸などの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	水産に関する学科	魚類やその他の水産生物の増養殖技術、水産物の加工、流通を学ぶ。県内には馬頭高校1校のみ。
	家庭に関する学科	服飾デザイン、生活設計、食物文化、栄養食物、生活文化などの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	福祉に関する学科	介護技術や社会福祉制度などが学べる。
	理数に関する学科	数学や理科を専門的に学べる。県内には小山高校1校のみ。
	体育に関する学科	スポーツについての専門知識を学ぶとともに、専攻実技や指定運動部で実際に実技を学べる。県内には小山南高校1校のみ。
総合学科		単位制授業で、興味・関心に応じて約110科目の中から好きな科目を選べる。

☺ 専門学科の多くでは、それぞれの学科の学習に合わせて、資格の取得を目指します。

☺ 私立高校の学科や内容については、各私立高校のパンフレットで確認しましょう。

☺ 通信制や定時制の私立高校もあります。

☺ 高校での授業は、日本語で行われます。特別な対応は、ほとんどありません。

☺ 栃木県の公立高校では、2018年～2022年に、学校の統合や学科の変更などが進められます。

あなたの住んでいる地域の高校に関する詳しいことや最新の情報は学校の先生に教えてもらいましょう。



(3) 普通科・専門学科・総合学科で学ぶ教科や科目について

ふつうか
普通科

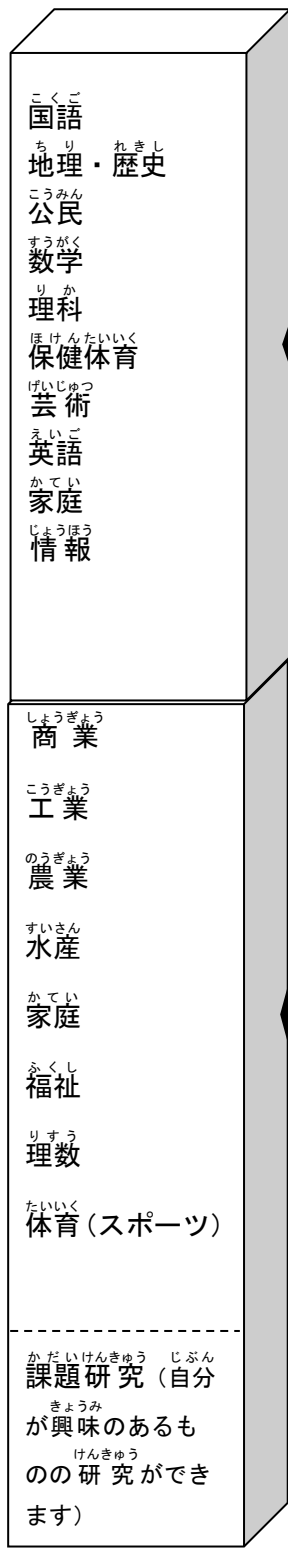
せんもんがつか
専門学科

そうごうがつか
総合学科

自分の勉強したい専門
学科のある高校に入学
します

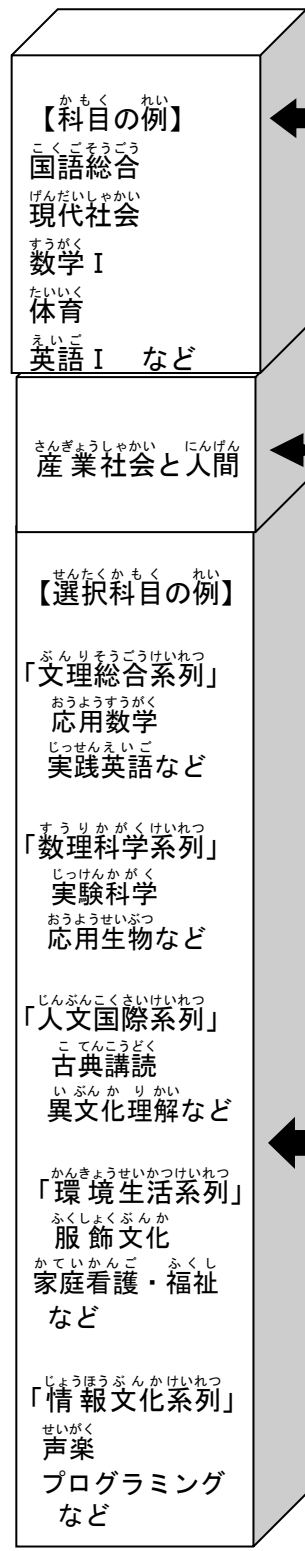


普通科



普通教科 (共通して学ぶ科目)

専門に関する教科・科目



必修科目・原則履修科目

選択科目

3. 学費について

(1) 入学するための費用

公立高校と私立高校は費用の面で大きな違いがあります。

課程	公立高校			私立高校
	全日制	定時制 (単位制)	通信制 (単位制)	全日制 (例)
入学 検定料	2,200円	950円	なし	12,000円～20,000円
入学金	5,650円	2,100円	500円	100,000円～200,000円
制服・体育着 など	40,000円～ 60,000円	15,000～	なし	70,000円～150,000円
施設拡充費	なし	なし	なし	100,000円～
およその 合計	50,000円～	18,000～	500円	300,000円～

私立高校などは、学校によってそれぞれの費用がちがいますので、詳しいことや最新の情報は学校のパンフレットをよく見てください。

特に学校の制服に関しては、公立高校も私立高校も学校によって費用は大きく異なります。



自分の志望する高校に知り合いの先輩がいたら、卒業するときに制服をゆずってもらえるように頼んでみましょう。

(2) 入学してから1年間にかかる費用

	公立高校			私立高校
	全日制	定時制 (単位制)	通信制 (単位制)	(全日制)
授業料	0円 (公立高校の授業料は無料です ※3)			300,000円～※2 ※3
教科書・教材費	10,000円～70,000円 (学校・学科によって異なります。)			
諸費 ※1	130,000円～	30,000円～	10,000円程度	250,000円～
給食費	なし	学校による	なし	なし

※1 諸費とは、PTA会費、生徒会費などで、集める項目は学校によって異なります。他に、修学旅行費などもあります。たいてい1年生から積み立てがはじまります。

※2 私立高校の授業料については、平成22年4月から高等学校就学支援金制度が適応され月額9,900 (年額118,800) の支給がうけられます。また家族の所得によって、支給額が増やされる場合があります。

※3 家族の収入が一定以上(1年で910万円くらい)あるときは、授業料を支払うことになります。

(3) その他にかかる費用について

*** 部活動費** 部活動に入った場合、ユニフォーム、試合や大会参加などの費用がかかります。

* 交通費

自宅から遠く離れた学校に通う場合、公共交通機関を利用します。例えば電車通学の場合、定期券代が必要となります。

(4) 学費の支払いが困難な場合

* 奨学金制度の利用

高校に在学する生徒で勉学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な生徒に対して、奨学資金を貸してくれる制度があります。

奨学金には、政府、自治体あるいは民間のものなどいろいろな種類の奨学金があります。お金を返さなくてもいいものもあれば、社会人になったらお金を返さなければいけないものもあります。いずれの奨学金も受けられるか否かは生徒自身の学業成績や家庭の経済状況などによります。また、申請するためにはいくつかの書類をそろえなくてはなりません。奨学金制度の利用を希望するかたは、中学校の先生または入学先の高校の先生に相談してください。



合格したら…

義務教育の小中学校とは違って、高校は一度学校をやめたら戻れません。簡単にやめなくて、何か困ったことがあったら、担任の先生や中学校のときの先生などに相談しましょう。



入学試験を受ける手続き(願書などの提出や、受験料の準備など)はそれぞれの中学校で示されます。提出日までに準備しましょう。

また、ほとんどの栃木県内の私立高校では、インターネットで受験の手続きをします。あなたの受験する高校の手続き方法については、早めに学校の先生に教えてもらいましょう。

4. 入学試験について

(1) 公立高校の入学試験のタイプ

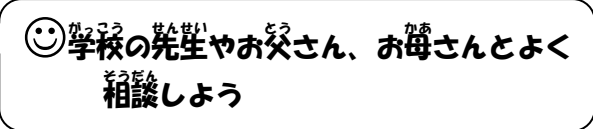
	受験資格	試験内容
一般選抜	日本の中学校卒業（見込み）、外国で9年間の学校教育を受けた人など。	① 学力検査（5教科） ② 調査書（学習の成績、部活での活躍など） この他に面接試験を行うこともあります。
特色選抜	日本の中学校卒業（見込み）、外国で9年間の学校教育を受けた人などで、志願する高等学校が示す資格要件にあてはまる人。	① 調査書 ② 志願理由書 ③ 面接試験 ④ 作文か小論文か学校独自検査
海外帰国者・外国人等の 受験に関する特別措置	A特別 選抜検査	一般的には面接と調査書等ですが、学力検査及び作文を行うことがあります。
	B特別 措置による学力 検査	学力検査と調査書等のほか作文及び面接があります。学力検査は、一般入試の5教科に対して3教科（国・数・英）となっています。

※ 海外帰国者・外国人等の受験に関する特別措置で県立高校の受験を希望する場合、担任の先生とよく相談してください。

公立高校と私立高校では、入学試験においていくつかの大きな違いがあります。

公立高校	全日制高校は1校しか受験できません（受験日が同じ日です。ただし、定時制、通信制は受験日が違うので受験できます）。合格したら特別の理由がない限り入学することになります。
私立高校	何校でも受験できます（受験日が学校によって違います）。
☆高校によって、 試験の種類・名前 や方法がちがいます	単願 合格したらその学校に必ず入学することを約束して受験する方法です。 合格したあとで、他の高校を受験することはできません。
	併願 合格してもその学校に入学することを約束しない形で受験する方法です。 公立高校も受験することができます。
	* 運動や学習において特に優れた実績を有している場合は、特待生受験が出来る場合があります。特待生受験は一般的に単願です。（合格すると授業料などの一部または全額免除となります）

にゅうがくしけん
(2) 入学試験までのスケジュール(2019~2020)

	にっぺい 日程
11月	3者面談において志望校(受験校)の相談 
12月	②私立高校一般入試 ・願書提出 ①私立高校推薦入試 ・願書提出
1月	・入試 ・合格発表 ・合格発表(学校により二次募集あり)
2月	③公立高校全日制特色選抜 ・願書等提出(1月30日~1月31日) ・入試(6日~7日) ・合格者内定(13日) ④公立高校全日制一般選抜 ・願書等提出(19日~20日) ⑤公立高校定時制フレックス特別選抜 ・願書等提出(25日~26日)
3月	・入試(5日) ・合格発表(11日) ・入試(5日) ・合格発表(11日) ⑥公立高校定時制一般選抜 ・願書等提出(11日~13日) ・入試(17日) ・合格者発表(23日)